

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0446
施設名	きぼう保育園
施設所在地	葛飾区高砂2-3-7
法人名	社会福祉法人希望福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）園の周辺には公園や土手があり、自然にあふれている。日常生活や戸外遊びなどで自然に触れながら楽しく遊ぶ姿が見られ、子ども達の興味関心をより深めたいと思ったため。

2. 活動スケジュール

子どもたちが自然環境を遊びに取り入れる様子をとらえ、その時々興味や関心に応じた自然とのかかわりを基に活動を進める。年に3回季節に合わせて様々な活動をする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ①事前に氷を作る（レジャーシート）
- ②散歩の際に野菜を買いに行く。（絵の具・ナイフ・まな板・画用紙）
- ③散歩の際に公園でどんぐりを拾う。（牛乳パック・ガムテープ・文房具）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 8月氷遊び ② 9月野菜を買いに行く ③ 2月どんぐりを拾いに行く
- ①保育室内にレジャーシートを敷き、事前に準備をしていた氷で感触遊びをする
- ②散歩の際にスーパーへ野菜を買いに行き、観察をして後日野菜スタンプをする
- ③散歩の際に公園にどんぐりを拾いに行き、後日保育室内にゲームを作る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ①室内にレジャーシートを敷き、氷を観察したり触ったりする。「冷たいね」「気持ちいいね」など一人ひとりが違った反応をする様子が見られた。冷たいものは長くは持てないことを知り、すぐに手放す児もいた。
- ②保育士と初めて行くスーパーに興奮気味な姿も見られたが、話をよく聞き、野菜を買うことができた。事前に野菜の絵本なども見たり読んだりすることで導入も行う。後日スタンプをする際も子どもたちの前で野菜を切り、感触などを確かめた。不思議そうに目を丸くしながら恐る恐る触る児、力の加減が難しく悩む児など様々な姿が見られた。
- ③普段散歩で行く公園でどんぐり拾いをする。色々な形や大きさのどんぐりがあり、興味津々に触り、喜びの声を上げている。ビニール袋に誰が一番たくさん集められたか競争をしたりする。後日保育士と3つのチームに分かれて相談しながらゲームを作る。(どんぐり落としゲーム)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは自分の身の回りのこと、経験したことを深く記憶して感じたり繋げたりすることで自身の成長に繋げていくのではないかと。自分の生活している世界には楽しいことがたくさん潜んでいて、それを見つける楽しみを見出している。環境設定をする際に、経験してほしいことを考えるのは大前提ではあるが、実際に活動することによって意外性や新しい発見もあったりする。子どもたちの発言により気づけたことも多くあった。